

文化芸術体験いっぱいのは二期

～見て、聴いて、イメージして、身体で表現して… 心に響くたくさんの事がありましたね～

鳴海ヶ丘新聞

第2号

2016年12月



展覧会

(10月)

第一ホールには、個人作品、クラスと縦割りコースの共同作品を集結させ、神秘的森をイメージした空間を作りました。各保育室は、一学期から描きためた描画の中から数点抜粋したものと粘土作品を展示致しました。



「ようこそ精霊の森へ」

(第1ホール)

…表情たっぷりの精霊たち…



楽しく心む作品にあふれていました。子どもたちの豊かな発想力、試行錯誤しながら作り上げた足跡、エネルギーシユな表現力を多くの方に感じていただけたいと思います。



幼稚園まつり♪音楽リズム発表会♪(11月)

日本特殊陶業市民会館フォレストホールにて開催されました。黄組はリズム表現、赤組はリズムダンス、青組は器楽合奏、その他、学年ごとの合唱や、栄光学園青組とお母様方による大合唱等、たことり音楽リズムを感じるこのできた発表会となりました。



教職員一同、心を一つに取り組んだ、栄光ワールドパーク3。子どもたちや会場にいらした皆様、エールを送らせていただきました。月



クリスマスコンサート～文化芸術プログラム④～(12月)

美しい音楽にじっくり耳を傾けました。スペシャルゲストはサンタクロース！！



◆安全衛生管理教育

今年も、日本のあちこちで災害のニュースが聞かれました。そこで、防災についてみんなできることにしました。まず、クラスの防災袋の中身を全部出して見てみると、「おいしそう！」「うちにもあるよ」と乾パンのことはわかったものの、その他は、子どもたちにとって見慣れないものはかりでした。また防災グッズ以外でも、身近なもので工夫次第で役に立つものがあることを知ってほしいと思い、新聞紙でスリッパとコップを作って実際に使ってみました。スリッパは足を包み込みながら折り目を付けるので自分の足にぴったりのもので、好きなように部屋の中や運動場で歩きまわっていました。外も歩けるし、痛くない！と驚いていました。コップは、折り紙あそびの要領で子どもたちでも簡単に折れました。その上「ヒール袋をかぶせ水を入れてみると「搾れないよ」「搾れならお水が飲めるね」と感動した様子でした。多あるものでひと工夫が命を守ることに繋がるということに、これからも触れていきたいです。

黄三組 一瀬尚(こ)

愛は勝つ

園長 岡田勝彦

いま話題のことは、「グリット」(やり抜く力)です。最新の心理学研究から、成功者の共通点は「才能」ではなく、「やり抜く力」だとわかりました。そして究極の能力をつくる子育ての方法に限定はなく、厳しくても、優しくても、親や教師の本当の愛があるかが力になります。二期の成功は、こどもたちに全ての愛が伝わった賜物と信じています。今学期もご協力いただきありがとうございます。愛ある良いお年をお迎えください。

